

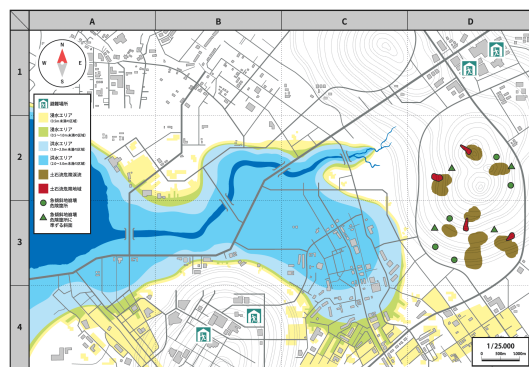
ゲーム型防災研修プログラム

# 風水害24の運用開始

神戸市での実証実験・採用決定。さらなる採用自治体他を全国より募集。



## 風水害24 気候変動時代を生きぬく



地域住民カード  
**印刷工場経営者**

自分の工場がどうなっているか心配。風雨が強くなる必要な納品物が準備してあるかいらないだろうか？A1地区の工場に確認に行くのはやはり遠回りになるだろうか？

高台  
**C1 高台**  
高台は水位が上がっても影響を受けることは少ない。避難経路として使っていきたい。また自宅避難も選択になる。

業務アクション  
工場の納品物を保管する（A1地区でのみ実行できる）

風雨が激しくなってきた

時間 3

風雨の激しさが増えている。多くの住民が住む地域で、避難を開始する人を見かけた。

避難場所が開放された

時間 3

大雨警報が出たため、避難場所が開放された。付近の高齢者介護施設からは、すでに利用者らが避難している。単身世帯の高齢者は無事に避難できない可能性がある。

堤防を越える大きな波が出始めた

時間 3

高潮注意報が継続しており、いつ高波警報になってもおかしくない。堤防を越える大きな波が出始めている。

「社会の課題に、市民の創造力を。」をテーマに、日本社会の様々な課題をデザインの美と共感の力で解決するイシュープラスデザイン（東京都千代田区 代表 筧 裕介）は、来たる気候変動時代、風水害多発時代に備え、風水害適応リテラシー（自分自身と地域住民の安全を確保するための適切な行動がとれる知識）のある住民を増やすための地域人材育成プログラム「風水害24」を開発しました。

近年、令和元年東日本台風（死者・行方不明者94名）、令和2年7月豪雨（同86名）など多くの人的・経済的被害をもたらす風水害が多発しており、私たち日本人にとって大規模風水害の備えの知識を持つことは、生活する上で必須の時代。

本プログラムは、神戸市での実証実験、市事業での正式採用を皮切りに、地域の防災対策の強化に取り組む地方自治体、学校などの各種団体、個別事業者への研修コンテンツの提供に加え、日本全国各地で風水害対策の普及・啓蒙に取り組む「風水害24ファシリテーター」の育成を通じて、気候変動時代の日本社会、地域社会において、豊かで幸せな生活、社会づくりへの貢献を目指します。

# ■ 風水害24とは

## プログラムの目的

来たる気候変動時代、風水害多発時代に向けて、自分自身と地域住民の安全を確保するための適切な行動がとれる、確かな風水害適応リテラシーのある住民を増やす

## 特徴1 風水害体験をリアルにシミュレーション可能

- 大規模風水害接近から通過までの24時間をリアルにシミュレーションが可能な仕組み
- プログラムは10ターンで構成され、ターンが進むに連れて警戒レベルがあがる。各ターンごとに気象情報と地理情報（現在地の危険性）を元に、移動・声掛け・情報収集・補強などの行動を選択する。
- 行動の選択によって、イベントが発生し、危険な場所と行動の場合は生命の危機も。

## 特徴2 オンラインでも、オフラインでも実施可能

- 地域住民が集う場でも、オンライン上でも実施が可能。
- いずれも5-20名くらいが参加し、仲間とともに実施する。

## 特徴3 楽しさ・没入感をもたらすゲーミフィケーション

- オンライン、オフラインともに、ゲーム性あふれるプログラムであり、楽しみながら防災を学べる。

## 特徴4 老若男女、子連れ、障害者など、誰もが参加可能

- 自治会など、高齢者が集まる場で、自宅から家族全員でオンラインで、外出が難しい方がオンラインでなど、多様な参加者を見込んだプログラム

## 特徴5 地域特性への細かな対応が可能

- ベースのプログラムは、海・川・山がある地域を想定して作成しているが、地域の地理特性に合わせてバージョンを作成することも可能。

## 体験会開催概要

想定参加者：地域の防災に関心のある方全般

人数：数名～30名程度 時間：2.5時間 形式：集合研修／オンラインいずれも可能

## ファシリテーター養成講座開催概要

想定参加者：地域の防災の強化・普及を目指す行政職員、団体・事業者社員等

開催頻度：毎月1回程度 時間：3時間程度

受講特典：自由に開催可能な資格授与。実施に必要なツール提供、運営サポートや人材交流機会の提供

## 各種お問い合わせ・ご相談

issue+design 佐藤・藤田まで [info@issueplusdesign.jp](mailto:info@issueplusdesign.jp)

